施工説明書

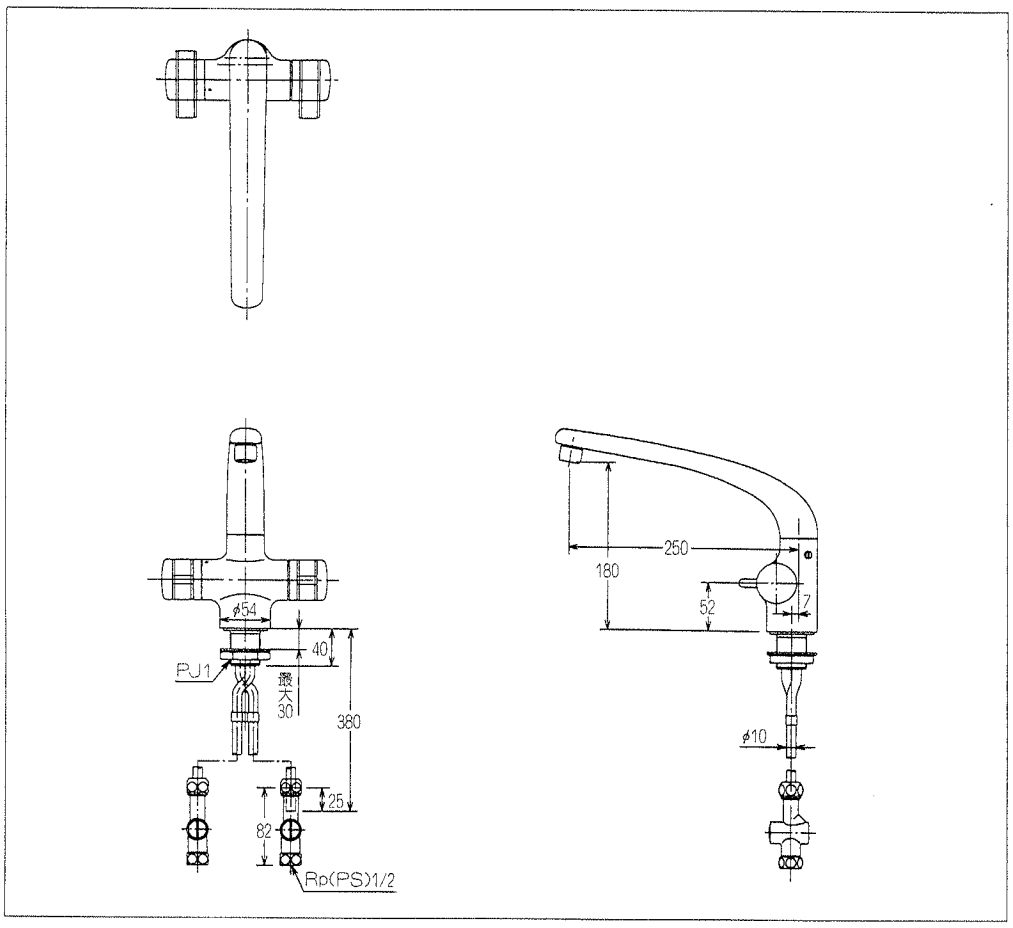
INAX

エスプリイナシリーズ

SF-9430T
キッチン用
サーモスタット付混合水栓

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この施工説明書を同梱の「ご愛用フォルダー」に入れてお客さまにお渡しください。

●商品図



※止水栓は壁給水の場合LF-3K、床給水の場合LF-3SKをご使用ください。
※カウンター穴あけ寸法はφ36±2で行ってください。

●安全上のご注意

●施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
●この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管頂くように依頼してください。

⚠ 注 意

湯水を逆に配管しないでください。
※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

●使用条件

●給水・給湯圧力は以下の条件を守ってください。
〔ガス給湯器（比例制御式：16号相当）と組み合わせる場合〕
給水圧力 { 最低必要圧力……A+0.07MPa{0.7kgf/㎠}
最高圧力……0.59MPa{6kgf/㎠}
※Aはガス給湯器の最低作動圧力です。
●測定条件
※開閉ハンドルは全開です。
※ガス給湯器との組合わせ条件が最も悪い冬期条件（給水温度5℃、吐出温度42℃）によるものです。
※給水圧力はガス給湯器直前における流動時の静水圧です。
※ガス給湯器の温度調節は最高温設定です。
〔貯湯式温水器と組み合わせる場合〕
給水・給湯圧力 { 最低必要圧力……0.05MPa{0.5kgf/㎠}
最高圧力……0.59MPa{6kgf/㎠}
●温度調節が容易で使い勝手をよくするために、給水圧力は、給湯圧力より高圧か、または同圧とするようにしてください。
●給水圧力が0.59MPa{6kgf/㎠}を超える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力（0.20～0.39MPa{2～4kgf/㎠}程度）に減圧してください。
●給湯温度は使用する最高温度より約10℃高く設定してください。
●給湯に蒸気は使用できません。

●施工前のご注意

●給水は上水道に接続してください。
※温泉水など異物を多く含む水には使用できません。
●給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。
※逆配管では表示通りに湯が出ません。
●給湯配管はできるだけ短くし、必ず保温材を巻いてください。
●商品の表面には直接工具を掛けないでください。
※工具を掛ける場合には、必ず商品に布等をあてて保護してください。
●開梱、取付けの際には商品の表面にキズを付けないように十分注意してください。
●取付後の保守点検のために必ず止水栓（別売）と点検口を設けてください。
●必ず配管中の異物を完全に洗い流してください。

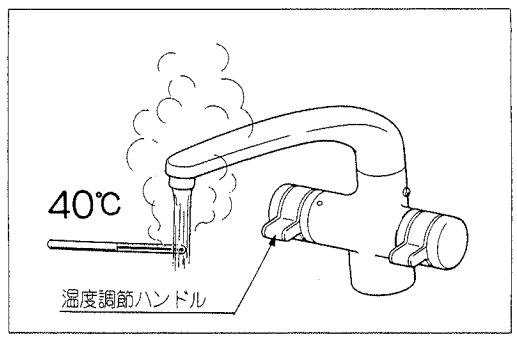
●施工後の調節

●流量調節

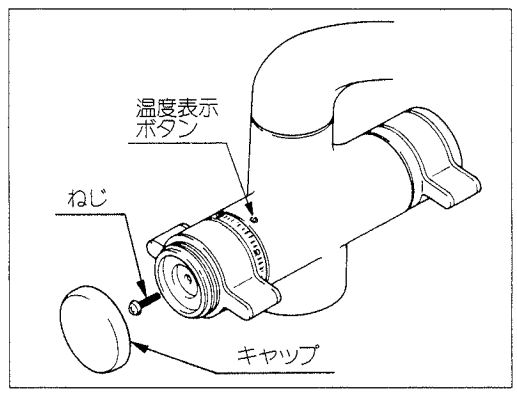
水栓の機能を十分発揮させるため、水圧が0.20MPa{2kgf/㎠}を超える場合は、水側の止水栓を次の要領で調節してください。
1．温度調節ハンドルを「C」側にいっぱいに回す。
2．開閉ハンドルを全開にする。
3．水側の止水栓を絞って、吐水量が毎分10～15L程度になるよう調節する。（洗面器を一杯にするのに約15～20秒程度かかる流量）

●温度調節

温度調節ハンドルの温度目盛と吐出温度が合わない場合は次の要領で調節してください。
1．調節前に次のことを確認します。
(1)湯側と水側の止水栓は十分開いていますか？
(2)湯側と水側のストレーナーは詰まっていませんか？
(3)使用する温度より10℃以上高い温度のお湯がきていますか？
2．調整手順
(1)全開吐出させて、温度目盛に関係なく40℃になるよう温度調節ハンドルを回します。

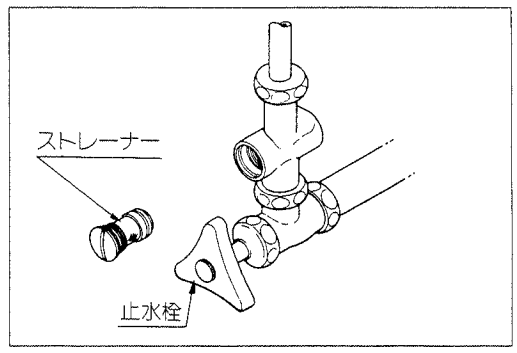


(2)吐出温度が40℃になったところで開閉ハンドルを閉め、温度調節ハンドルが回転しないように注意してキャップ・ねじを外し温度調節ハンドルを抜き取ります。
(3)温度表示ボタンに温度目盛の「40」が合うように温度調節ハンドルをはめ、ねじを締め、キャップをはめ込みます。



●ストレーナーの掃除

ストレーナーのゴミ詰まりは機能を低下させます。次の要領で掃除してください。
1．止水栓を閉じます（湯と水両方）。
2．止水栓上部にあるストレーナー付逆止弁をドライバー等で左に回して取り外します。取り外したストレーナーについたゴミ等を洗い流してください。落ちにくいゴミはブラシ等で取り除いてください。



株式会社INAX

本社 ☎0569-35-2700
横浜支社 ☎045-242-1710
甲信支社 ☎0263-36-2166
京滋支社 ☎075-222-1794
札幌支社 ☎011-271-1701
千葉支社 ☎043-227-8171
名古屋支社 ☎052-201-1717
広島支社 ☎082-223-1710
東北支社 ☎022-263-1710
埼玉支社 ☎048-668-1177
静岡支社 ☎054-251-1710
四国支社 ☎0878-21-1701
東京支社 ☎03-5541-7111
東関東支社 ☎0286-37-3378
北陸支社 ☎0762-64-1710
福岡支社 ☎092-471-1710
西東京支社 ☎0425-27-3341
関越支社 ☎0273-27-1793
大阪支社 ☎ 06-539-3500
南九州支社 ☎096-322-1794

●引渡前の確認

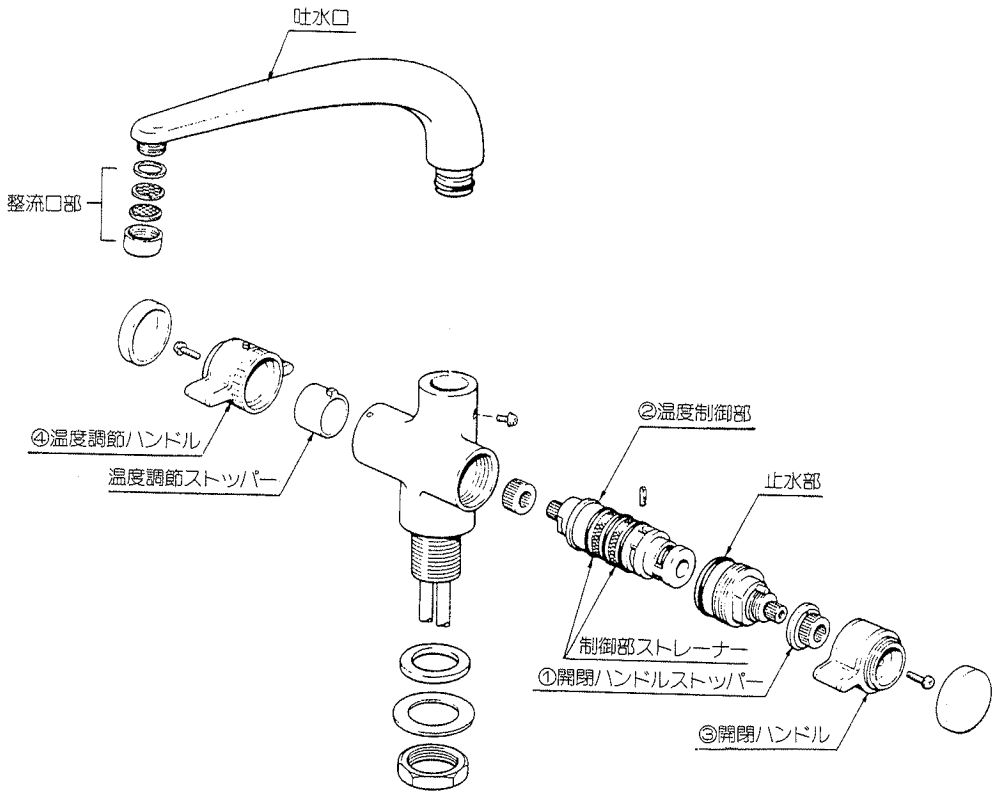
引渡前および故障時の点検は以下の要領で行ってください。

●故障と点検

現　象	点　検　内　容	点検箇所	処　置
流量が少ない	圧力は十分か？		「使用条件」の項参照。
	ストレーナーのゴミ詰りは？		「ストレーナーの掃除」の項参照。
	給湯器の能力調節はよいか？		適正に調節する。
	配管途中に大きな抵抗はないか？		抵抗となる障害物を取り除く。
水が止まらない	開閉ハンドルストッパーの調節はよいか？	①	組立手順に従い、調節する。
	制御部にゴミかみはないか？	②	ゴミ等を水で洗い流す。
希望の温度が得られない	圧力は十分か？		「使用条件」の項参照。
	ストレーナーのゴミ詰りは？		「ストレーナーの掃除」の項参照。
	温度調節はよいか？		「温度調節」の項参照。
	制御部は働いているか？		「機能検査」の項参照。

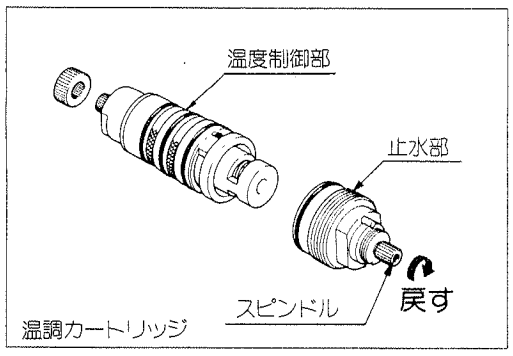
●機能検査

⑴開閉ハンドル③を「ON」の位置にする。
⑵温度調節ハンドル④を「40」に合わせる。
⑶止水栓の水側のみを閉める。
※この時吐出がほとんど停止すれば機能は正常です。
※吐出が止まらずそのままであれば温調カートリッジの故障ですから取替えが必要です。
⑷止水栓の湯側のみを閉める。
※この時吐出がほとんど停止すれば機能は正常です。
※吐出が止まらずそのままであれば温調カートリッジの故障ですから取替えが必要です。

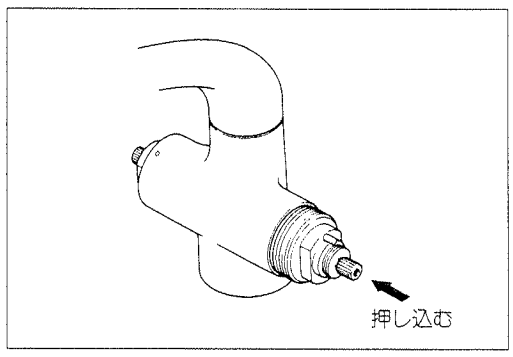


●組立手順(分解点検後の組立ては以下の手順に従ってください。)

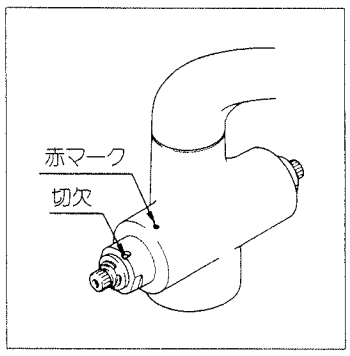
1. 温度制御部と止水部をはめて温調カートリッジを組み立てる。
※このときスピンドルは締め込まず十分戻して（時計回りに回す）ください。

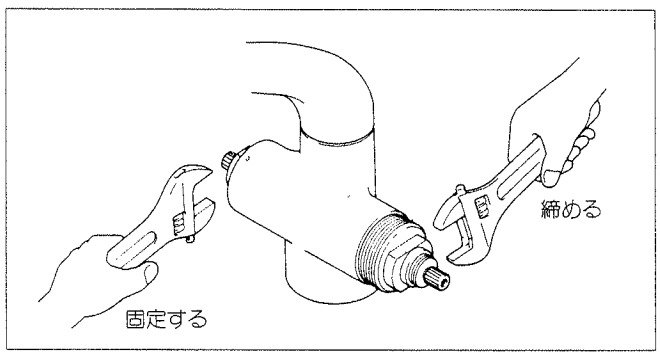


2. 本体に温調カートリッジを挿入します。

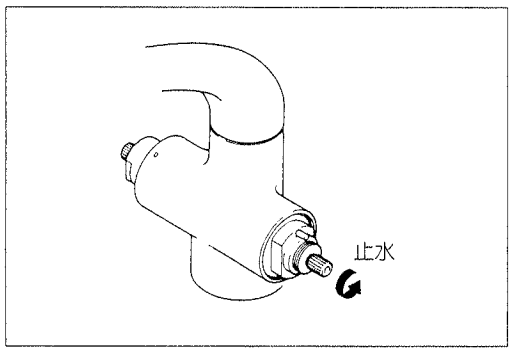


3. 本体の赤マークに温度制御部の切欠を合わせて、回転しないようスパナ等で固定し、止水部を締め付けます。

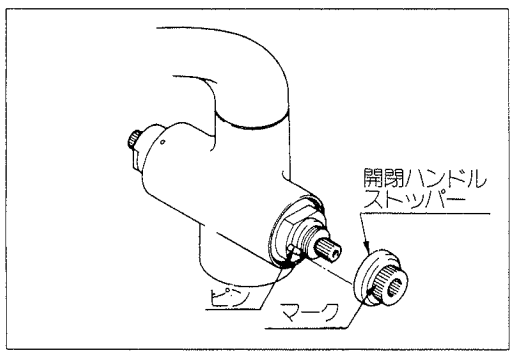




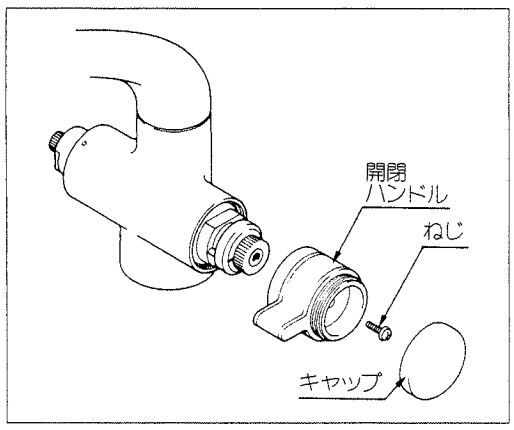
4. 止水栓を開けて通水し、開閉スピンドルを反時計回りに回して止水する位置にする。このとき締め込まず、軽く締める程度にする。



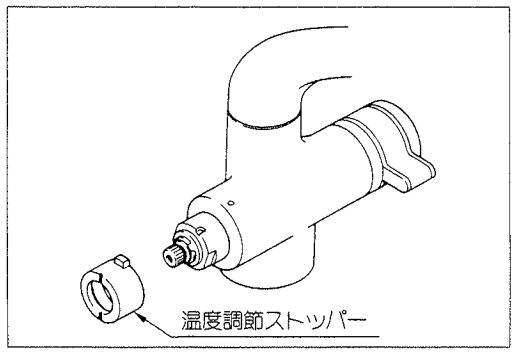
5. 開閉ハンドルストッパーを図のように、止水部のピンとストッパーのマーク（溝）を合わせてスピンドルにはめ込む。



6. 開閉ハンドルを左（反時計回り）にいっぱい回したときレバーが水平になるよう開閉ハンドルを取り付け、ねじで固定し、キャップをねじ込む。



7. 温調スピンドル側に温度調節ストッパーをはめ込みます。



8. 温調スピンドルを回して、吐出温度が40℃になるよう調節する。
9. 本体赤マークに温度調節ハンドルの40℃が合うように温度調節ハンドルをはめ、ねじで固定しキャップをはめる。